

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会 たよい

平成30年1月25日発行

第30回ことう地域チームケア研究会を開催しました

開催日時:平成30年1月11日(木) 18:30~20:30

担当団体:彦根歯科医師会・湖東圏域4病院相談支援部門・湖東圏域リハビリ職

参加者:76名(医療福祉関係者33名、福祉関係者21名、行政・包括等22名*内新規10名)

担当団体を代表して、彦根歯科医師会会長川尻日出雄さんより、ひとことご挨拶をいただきました。

テーマ「摂食嚥下・栄養について」

話題提供その1「摂食嚥下における基礎知識～廃用による誤嚥性肺炎を中心に～」

山田 聡さん(豊郷病院歯科口腔外科 歯科医師)

摂食・嚥下障害の主な症状

・咳、むせ→タイミングも大事。とても危険!

嚥下前 食塊形成時に咽頭に垂れ込んでいる。
 嚥下中、後 舌の送り込み力の低下
 咽頭収縮力の低下
 食道入口部の開大不全

・湿性嚔声→ガラガラ声、かすれた声

咽頭に唾液、痰が溜まっているのに、嚥下反射が出ない。
 ・食欲不振、体重減少etc...

実は咳やむせの無いほうが

【誤嚥性肺炎のパターン】

①食事の際の顕性誤嚥 ②睡眠時の不顕性誤嚥

≪肺炎の原因菌の大半は歯周病の原因菌。この細菌を誤嚥し肺炎に!≫

こちらが多い!!

【原因→対策】

- ☆口腔内清掃不良、口腔乾燥→口腔ケア
- ☆義歯不適合→歯科医師に相談
- ☆嚥下関連筋の低下や嚥下反射の遅延→口腔体操は有効。しかし、なかなか健常者と同じように戻すのは厳しい状況もあるので、何かしらで補う。
- ・食事する姿勢(誤嚥しにくい姿勢)
- ・一口量 ・食形態の見直し

ほとんど歯磨きや口腔ケアをしない人の口の中の細菌数は1兆個!!

話題提供その2:「5感を大切に摂食(食べる)こと)嚥下(飲み込む)こと)」

磯崎 美和さん(彦根市立病院 摂食嚥下障害看護認定看護師)

- ◆食事を摂る時の5つの動作。
- ◆私たちが食べる時に使う5つの感覚
- ◆感覚を大切に摂食介助と食事の工夫

体験「嗅覚」

目をつむって「臭い」でお菓子を味わってみよう

人は食事を摂る際には感覚

視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚

をフル活用しています

感覚を意識して工夫を加えることで利用者さんや患者さんの食事への認識を高めることができます

私たちが食べる時と同じように食べてもらうことが大切です

話題提供その3:「湖東地域の『摂食嚥下食』の均一化に向けた取組」

湖東・食と栄養を考える会 (報告)大仁田展子さん(豊郷病院 管理栄養士)

「病院」「施設」「在宅」湖東圏域 食の連携

- ◆患者、利用者が施設、病院を移った場合でも、それぞれの場所で自分に適した食事の提供を受けることができ、QOL向上につながるように!
- ◆食にかかわるすべての職員が、「食事形態一覧表」を活用し、高齢者の食のQOL向上をめざす!

こちら

『食事形態一覧表』(彦根保健所・湖東圏域食の連携にむけて)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/h-hwc/kenko/kotou-syokukeitaitirann.html>

栄養に関する相談は!

嬉しい情報

- 栄養ケアステーション(各都道府県1か所)
- 日本栄養士会認定栄養ケアステーション 滋賀県9カ所
湖東地域では 彦根中央病院 (連絡先:0749-27-6504)
- 栄養ケアステーションとは
地域住民の食に関する課題に対応するため、管理栄養士・栄養士が栄養ケアを提供する地域密着型の拠点です。

話題提供を聞いての感想やそれぞれの職種から現状を出し合いました。

グループ交流会

参加者の声



司会は堤正彦さん
(彦根歯科医師会)



話題提供の感想

- ◆できるだけ口の中は綺麗にしておかないといけないと思った。
- ◆口の中の菌の数にびっくりした。
- ◆「いかに食べてもらうか(胃に入れる)」ということばかり考えていた。何を食べているかを認識してもらうことの大切さを再確認できた。
- ◆誤嚥については、むせの有無について判断していた。むせの無い人が危険という話を聞き、看護師としてデイサービスでも気をつけてみていきたいと思った。

口腔ケアの啓発について

- ◆義歯が合わなくてもそのままになっている場合も多い。在宅での口腔ケアの対応はまだまだだと思う。現状を把握する必要がある。
- ◆介護保険利用申請の段階でかなり口の中が汚れている状態が多い。
- ◆家族や本人に口腔機能、口腔ケアへの意識を高めてもらいたい。どうしたらいいか。
- ◆在宅での口腔ケアの実践は難しい。まずは施設やデイサービス等、介護サービスの事業所での口腔ケアを充実できるように対策をしていけないだろうか。
- ◆口腔機能を衰えさせない対策の促進(地域にも広げる取組)が必要だと思う。

病院～在宅へ、専門職の連携について

- ◆退院後、口腔ケアが継続できず、綺麗だった歯がぼろぼろになったケースあり。在宅でも口腔ケアが継続できるように、在宅で関われる職種で病院との情報共有が必要だと感じた。
- ◆病院で指導を受けていても在宅での支援につながらない。サポート体制が分からない。

栄養・食事形態について

- ◆「食事形態一覧表」を施設で活用している。
- ◆栄養ケアステーションについて周知を。
- ◆管理栄養士さんの在宅サポートをより一層強めてほしい。
- ◆口腔と栄養は切れない密な関係。摂食嚥下に問題がある方の多くが口腔の問題がある
- ◆食べることや摂食嚥下については様々な専門職が関わられる分野であると思う。

歯科受診について

- ◆介護サービス事業所を利用されている認知症の方。歯科受診ができず義歯が合っていない状態で過ごしている。
- ◆介護度が重度になると通院のための家族の負担が大きい。歯科医院にいかないとレントゲンなどができないといわれるが、処置台に座るのも大変な方もいる。
- ◆通院するほうが処置のできる幅は広がる。歯科受診の通院方法の問題を考えていく必要がある

かかりつけ歯科を持つこと

- ◆日頃から歯科のかかりつけ医をもって、状態が悪くなった時に相談できるようにしておくことが大事。
- ◆訪問歯科の実際はどうなっているのだろう。どうしても通院できない場合や気になる症状がある場合、かかりつけの歯科医師がいれば、相談できる。かかりつけ歯科を持つことが大事と再認識した。



ご参加ください! 次回(第31回)は…

お知らせメールの登録をお願いします。

研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、「①お名前 ②ご所属 ③ひとこと」をいれて下記にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局
(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

◆平成30年3月8日(木) 18:30~20:30
テーマ：『かかりつけ医と病院の連携』
担当団体：彦根医師会・湖東健康福祉事務所
会場：くすのきセンター1階研修室

*申し込みは不要です。当日会場へお越しください
*問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局
彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)
彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)



<http://kusunoki-kyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>
ホームページで研究会の情報をご覧いただけます。

こんなこと思いました

第30回参加者アンケートより

思ったこと、印象に残ったことなど

【歯科医師】 【歯科衛生士】

- むせの無い誤嚥が怖いということ。
- 食事介助において五感をしっかり使う必要性が再認識できた。
- 実際の現場の声が知れてよかった。
- 非常に有意義な会だったと思う。これだけ多くの専門家が集まっているのに時間が限られており残念。
- 各職種の方がどんな仕事をしているのか知らなくて無知を知った。勉強します。
- 口腔ケアについて重要だと取り上げてもらったが、具体的な支援方法については明示されなかったので今後取り上げてもらいたい。
- 口腔に関する多職種の方の意見がたくさん聞いて有意義な時間でした。多職種の方に口腔ケアについて分かりやすく伝えていけるようにがんばりたい。



【管理栄養士】

- 五感について普段忘れかけている基本的なことに改めて気づくことができてよかった。
- 栄養ケアステーションが広まってよかった。中央病院の取組に関わりたかったと思った。
- 栄養ケアステーション、参加者の皆さんに関心を持っていただけてよかった。

【看護師】 【保健師】

- 多職種の方と交流させていただいて意見を聞いてよかった。
- 知らないこと（食事形態）や相談場所があることが分かりよかった。口腔ケアの大切さを再認識できた。
- 食事で大切なのは五感という、あたりまえのことを忘れていたと反省し、大事にしていきたいと思った。
- 「食事形態一覧表」、「栄養ケアステーション」を初めて知った。活用していきたいと思う。
- むせのある人たちに注目しがちだが、むせの無い人の方が危険ということが分かり、むせの無い人にも注目が必要であると感じた。看護師として、そのような人を確認できるようにしたい。
- 「お口」「食」について自分が知らなかったことについて知識をもらうことができた。業務に生かしていきたい。

【理学療法士】 【作業療法士】

- 口腔ケアの重要性、視覚で食事を楽しむことの大切さが改めて理解できた。
- 嚥下について再度確認できた。一覧表は有効だと感じた。
- 普段病院に勤務しているのでデイサービス等の介護保険サービスの現場のことを聞いてよかった。栄養ケアの地域支援について知ることができたのが参考になった。

【介護支援専門員】

- ・五感が大切ということで、食べる大切さや食べる意欲を高めることが大事だと思った。単に食事介助するだけでなく食べる人の立場にたって介助が必要だと感じた。
- ・栄養に関する相談窓口を知ることができてありがたかった。
- ・個人的に好きな分野だが、職が変わって最近ではあまり深く考えることも無かった（食事介助が必要な人と関わることが無いので）。五感が大切ということが多くの方に伝わるとよいと思う。
- ・食べることは一番の楽しみだと思った。それを可能にするには口腔内を綺麗にし、五感に働きかけ、食べやすいものを準備する、そのためには様々な連携が必要だと感じた。

【介護職員】

- ・いろいろな情報を聞いたことが良かった。

【不明】

- ・食べることの大切さがとてもよく分かった。
- ・五感を大切にしたり食事介助では視覚、聴覚にも訴えることを知ることが出来てよかった。また、歯科医師の話を聞いたことが良かった。
- ・普段、歯科医師の方や嚥下困難の話をうかがうことがないので貴重な話を聞いた。食べること、五感の重要性を感じることができた。
- ・介護する立場からの目線での接し方が多かったと感じた。
- ・いろんな職種と交流できてよかった。

ご意見・ご感想、ありがとうございました。

●参加者の方の所属事業所（同意をいただいた事業所様のみ掲載しています）

【病院・診療所】松木診療所・中西医院・彦根市立病院・彦根中央病院・豊郷病院

【歯科医院】つつみ歯科医院・井本歯科医院・K 歯科医院・田井中歯科医院・こば歯科矯正歯科クリニック・藤本歯科医院・アンジュデンタルクリニック・安澤歯科小泉診療所・やまだファミリー歯科・若松歯科

【薬局】わかば薬局神埼店

【訪問看護ステーション】友仁訪問看護ステーションすずらん・レインボウとよさと・レインボウひこね・レインボウはたしょう・こころ訪問看護ステーション・彦根市立病院訪問看護ステーション

【居宅介護支援事業所】ケアプランセンターどリーむ・あったかケアプランセンター・笑ケアプランセンター・彦根市社会福祉協議会・ぶどう居宅介護支援事業所・ケアマネジメントセンターライフ・さざなみ苑居宅支援センター・NPO ぽぽハウス・

【介護サービス事業所】デイサービスさくら・NPO 喜房会・ハピネス北デイサービス・NPO ぽぽハウス・グループホームあいの里八坂・ケイパハウス・特別養護老人ホームさざなみ苑・ハッピーライフゆりの郷・トーカイ

【地域包括支援センター】多賀町・彦根市（すばる・ひらた・ゆうじん・きらら）

【行政関係・医療福祉専門職団体】彦根市医療福祉推進課・湖東健康福祉事務所

【その他】スズケン・武田薬品・中北薬品